

薬物依存症者に対する回復支援 および地域連携における研修

NPO 法人 川崎ダルク支援会 川崎ダルクデイケアセンター
〒211-0044 神奈川県川崎市中原区新城 4-1-1 新城 NHビル 2F

助成事業の概要

目的

川崎ダルクがこれから地域の中で多くの依存症者を支援していくに当たり、依存症者を取り巻くネットワークづくりが現在まだ構築されていない。各団体それぞれは素晴らしい支援をしているにもかかわらず回復率が伸び悩み、リハビリプログラムを実践できるクライアントが少ないのも現状である。支援の網の目を増やし、依存症関連のネットワーク構築と勉強を兼ねた研修会を行うことで、依存症者への支援がよりよいものとなるために実施を行った。

開催時期

2012年1月21日(土) 22日(日)

DARS 薬物依存症者処遇プログラム研修会

2010年2月23日(木) 24日(金)

依存症講座 part1 依存症と共依存 家族への介入

2010年3月22日(木)

依存症講座 part2 発達障害を学ぼう

事業の成果

今回の事業では川崎市内在住で依存症者の家族、支援者が多く参加した。全体を通して地域にふれあい、多くの参加者と依存症についての情報交換ができた。また講師に川崎ダルク職員、川崎市発達障害支援センター職員を招聘し、より地域からの発信と共に連携にも近づけるものとなった。来年から本格的に施行される刑務所内に服役

中の受刑者に対する緊急帰住地確保をダルクが受け入れるために、どのように地域の中でリハビリを続けていくといった問題が浮き彫りに上がった。また実際にダルクで行っているグループセラピーに参加した受講者に体験してもらい、自分自身の問題と向き合うことの大切さや、正直になるために必要な勇気を再確認してもらえた。参加者の感想は依存症についての理解が深まった、家族への介入として新しい方法を知ることができた、発達障害と依存症との関係がこんなにも深く面白かった、など様々な意見を聞いた。一番の成果は何よりもたくさんの方に依存症についての理解と対応が確認できたことだ。そして次に依存症だけではなく精神障害者を支援するネットワークの人材が集まったことがとても大きな成果になった。この講座が終わってからダルクに足を運んでくださる参加者や講座やセラピーに引き続き興味を示している方たちも多く、今回の依存症講座を行った成果がこのような形でも表れている。また講座にはダルクの利用者にも参加をしてもらい依存症からの回復について自分たち自身の向き合い方や客観視した意見に耳を傾けていた。事前に多くの方に準備から参加を促し、たくさんの人を巻き込んで行うことができればより多くのネットワークが出来上がっていたのではと思うと課題が残る部分である。しかし、市内にある依存症施設は全部で5か所だがその存在さえも知らない人や、依存症についての知識を持たない地域の方たちにとって、活動の報告と実践していることを示す場所があったことが一番の成果となった。

今後の展開

今年度は今回の課題を踏まえて、新たに依存症講座委員会を設置して、内外の方たちに参加を促して講座での企画と依存症フォーラムの開催を行い、より多くの方たちに川崎市での依存症回復支援の現状を報告させてもらい、依存症の偏見を少しでも取り除けるように報告とネットワークの構築を強固なものとし、依存症からの回復支援を作り上げていけるよう川崎市から助成金を受けて、依存症講座を行っていく。